

事 務 連 絡

令和7年2月8日

地区薬剤師会 担当者 各位

公益社団法人東京都薬剤師会
職能対策課

薬物乱用防止啓発用リーフレットの送付について

平素より本会会務の推進にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。また、薬物乱用防止啓発事業に格別のご高配を賜り、重ねて御礼申し上げます。

今般、東京都保健医療局健康安全部薬務課より、リーフレット「健康に生きる 恐ろしい薬物乱用（小・中学生用）」を改訂した旨、連絡がありました。

つきましては、見本として1部を配付いたしますので、追加をご要望の際は、別添「薬物乱用防止啓発用資材 貸出・配布申込書」に必要事項をご記入の上、下記申込先までお申込みをお願いいたします。また、業務ご多忙の折、大変恐縮ではありますが、貴会会員へご周知いただけますようよろしくお願い申し上げます。

記

1. 申込方法

- (1) 事前に、お電話にて在庫状況等についてお問合せください。
- (2) 別添「薬物乱用防止啓発用資材 貸出・配布申込書」に必要事項をご記入の上、電子メール等によりお申込みください。

2. 申込先／問合せ先

東京都保健医療局健康安全部 薬務課 麻薬対策担当

電 話 03（5320）4505

FAX 03（5388）1434

メールアドレス S1150603@section.metro.tokyo.jp

・電話にて在庫状況の確認、仮予約の上、御送付ください。
 ・局名等が変更になりました。印刷の都合上、改訂前のリーフレットを配布する場合がございます。ご了承いただきますようお願い申し上げます。

東京都保健医療局健康安全部薬務課麻薬対策担当

Mail S1150603@section.metro.tokyo.jp

Tel 03-5320-4505 Fax 03-5388-1434

薬物乱用防止啓発用資材 貸出・配布申込書

申込年月日		年 月 日 ()	
配布・貸出方法		薬務課窓口 ・ 郵送 ・ 交換便 ・ その他 ()	
お申込者	所属・氏名	電話番号	
お届け先	住所	☐ 学校 ☐ 行政機関 ☐ 薬局 ☐ その他 ☐ 個人宅 ()	
	所属・氏名	電話番号	
使用団体(学校)名			
使用目的		講習会参加予定人数	人

1 貸出 (2週間を目安に返却をお願いします)

配達希望日	年 月 日 () までに ※状況によって御希望に添えない場合があります		
返却予定日	年 月 日 ()		
返却方法	薬務課窓口 ・ 郵送(発払いのみ) ・ 交換便 ・ その他 ()		
貸出希望資材			数量
ビデオ・DVD	番号	題名	
	番号	題名	
	番号	啓発資材名	数量
啓発用パネル	1	軽量カラーパネル (5枚組)	
	2	軽量カラーパネル (8枚組)	
	3	軽量カラーパネル (10枚組)	
見本・標本 ※⑤～⑧は、1団体につき、いずれか1つとさせていただきます。	4	覚せい剤容量見本	
	⑤	薬物標本 吸引器具入り	
	⑥	薬物標本 ケシ坊主入り	
	⑦	薬物標本 ケシ坊主・大麻の葉入り	
	⑧	薬物標本 マジックマッシュルーム入り	
	9	模造麻薬見本	
	10	新薬物標本	
	11	危険ドラッグ標本	
その他	12	「ダメ。ゼッタイ。」君 着ぐるみ	
	13	ダメ。くま君 着ぐるみ	
	14	「ダメ。ゼッタイ。」君 キャラクター人形	
	15	横断幕	
	16	垂れ幕	
	17	ダメ。ゼッタイ。のぼり旗	
	18	STOP! 薬物乱用～断る勇気～のぼり旗	
	19	のぼり棒 ・ のぼり台	

*数字が網掛けになっている資材は、原則、郵送していません。健康安全研究センター窓口(新宿区百人町3-24-1)で受け渡します。

ただし、ダメ。くま君の着ぐるみについては、薬務課窓口(都庁第一本庁舎30階北側)で受け渡します。

*ダメ。くま君の着ぐるみは、できるだけ「ダメ。ゼッタイ。」君の着ぐるみとペアでの御利用をお願いいたします。

*資材のサイズ等について、事前にホームページや電話等で御確認ください。ホームページに資材の写真を掲載しております。

ホームページアドレス: https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/anzen/kenkou_anzen/stop/keihatsu/sonota.html

2 配布

配達希望日	年 月 日 () までに ※状況によって御希望に添えない場合があります		
配布資材			数量
リーフレット	1	STOP!! 薬物乱用 勇者・ストップ	
	2	健康に生きる 恐ろしい薬物乱用 小・中学生用	
	3	今こそストップ! 薬物乱用	
	4	薬物乱用防止高校生会議リーフレット	
	5	海外旅行に行くみなさんへ 麻薬、大麻、覚醒剤に御注意!	
	6	御存じですか 不正大麻・けし撲滅運動	
	7	危険ドラッグにはダメされない!! 近づかない!!	
	8	STOP! 薬物乱用～断る勇気～	
	9		

備考: 麻薬対策担当処理欄

電話受付	年 月 日 () 印	貸出・発送	年 月 日 () 印	返却・確認	年 月 日 () 印
------	-------------	-------	-------------	-------	-------------

着ぐるみ: 「ダメ。ゼッタイ。」君 (新・旧) ・ ダメ。くま君



誘われても、勇気をもって はっきりと断りましょう！

友達や先輩など周りの人から薬物をすすめられたりした場合には、はっきりと断りましょう。近年、インターネット等で「大麻には害がない」といった誤った情報が流れているので、注意しましょう。また、合法ドラッグ、合法ハーブなどと称して売られているものもありますが、非常に危険な薬物です。決してダメされてはいけません。お酒やタバコも未成年者が使用することは法律違反であり、薬物乱用のきっかけになることがあります。

心当たりがありますか？



あなたなら、誘われたときにどうやって断るかな？

保護者の皆様へ ～薬物乱用防止はまず家庭から～

大麻、覚醒剤、麻薬、危険ドラッグなどの薬物の乱用は、大人が思っている以上に子供たちの身近に迫りつつあります。まず、大人が薬物の恐ろしさを認識し、乱用は健康を害するものであり、一度使うだけでも犯罪だというき然とした態度をとることが大切です。

また、薬物乱用の疑いがある場合には、早急に対応することが必要です。最寄りの保健所・保健センター、精神保健福祉センターへ相談しましょう。ご家族だけでも相談できます。プライバシーは厳守します。

薬物に手を出させないための7か条

- 1 子供の心と体の変化について理解しましょう。
- 2 毎日、家族の会話を大切にしましょう。
- 3 子供の話には常に耳を傾けましょう。
- 4 友情をつちかい、悪い誘いを拒否できる勇気を育てましょう。
- 5 子供が家族や学校の先生にいつでも相談できるようにしておきましょう。
- 6 子供自身で、健全な判断ができるように育てましょう。
- 7 家族そろってのコミュニケーションの場を大切にしましょう。

東京都の薬物乱用防止啓発制度

薬物乱用問題についての正しい知識を伝えるために、皆さんの地域には「薬物乱用防止指導員」や「薬物専門講師」がいます。講習会や勉強会などに講師の派遣を希望される方は、下記までお問い合わせください。

問合せ先

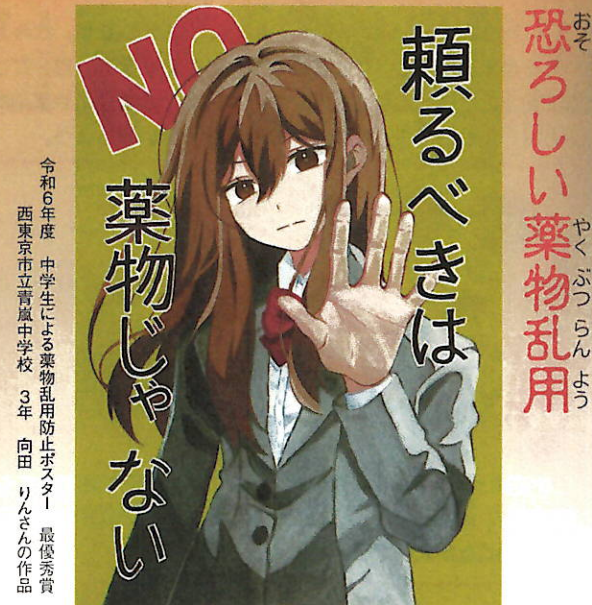
東京都保健医療局健康安全部薬務課
●麻薬対策担当 電話03-5320-4505
●危険ドラッグ対策担当 電話03-5320-4515

※リーフレット作成にあたり、厚生労働省関東信越厚生局麻薬取締部の協力を得ました。

令和6年11月発行 東京都保健医療局健康安全部薬務課 登録番号(6)115
郵便番号163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号 電話 03-5320-4505
イラスト協力 横山 祥子(小平市) 印刷 正和商事株式会社



健康に生きる



薬物で 心のすきまは うめられない
自分を守ろう 薬物乱用

令和6年度 中学生による薬物乱用防止標語 最優秀賞
江東区立有明中学校 1年 石橋 茉依さんの作品

東京都・東京都薬物乱用対策推進本部
東京都薬物乱用防止推進協議会

東京都

1 「クスリ」ってなに？

「クスリ」は、**病気やけがを治すために使う**ものです。飲み方や使い方をまちがえると、体に害となることもあります。自分だけの判断で使うことは**危険**なので、かかりつけのお医者さんや薬剤師さん、お父さんやお母さんによく相談してから使いましょう。



「クスリ」は**正しく**使いましょう！

2 薬物を乱用するとどうなるの？

大麻、覚醒剤、麻薬、危険ドラッグなどの薬物を、吸ったり飲んだりすると、心と体に**悪い影響**があります。薬物をやめて普通の生活をするためには**生涯にわたって適切な治療**が必要になります。

1 回くらいなら…

不安が消えて、何でもできるような気分
 → **またやりたい**
 薬物が切れた後の**不快な気分**
 → **逃げたい**

くり返し使用
 自分ではやめられない状態
 (薬物依存症: 自分で自分の心と体をコントロールできない"病気"です)

薬物乱用とは……？

- 「クスリ」を本来の目的(病気やけがの治療)以外に使うこと。
- 「クスリ」でないものを吸ったり飲んだりすること。

薬物の乱用は、**法律で厳しく禁止**されていて、**重い罰を受ける**ことになります。

学習能力の低下・成長への悪い影響・こころの変化

正常な判断ができなくなる…
 幻覚や幻聴におそわれる…
 感情のコントロールが効かなくなり、家族や友達を傷つけることもあります。

薬物乱用による幻覚作用の例

過去に見た猫の手
 今自分の手

出典：厚生労働省 薬物乱用読本「健康に生きよう」

気合いだけでは治らない！

依存症になってしまった脳は元の状態には戻りません。乱用をやめても、幻覚や幻聴におそわれることがあり、生涯にわたって適切な治療が必要になります。

健康に生きるとは、自分で自分を守ること！

乱用されている薬物の呼び方(隠語) いろんな名前ではばれています。



●大麻…ハッピー、マリファナ、グラス、チョコ、ガンジャ など



●覚醒剤…エス、スピード、アイス、シャブ、やせ薬 など



●MDMA(麻薬)…エクスタシー、X、バツ



●危険ドラッグ…脱法ドラッグ、合法ハーブ

- LSD(麻薬)…アッシュ、フェニックス、ドラゴン、ペーパー
- コカイン(麻薬)…コーク、スノウ、パウダー、クラック
- シンナー…アンパン、ジュントロ

誘われても絶対に断ろう！

写真提供：関東信越厚生局麻薬取締部